



特定非営利活動法人
まちなか研究所

わくわく

まちなかの元

machinaka kenkyusyo wakuwaku

第 3 号

2008年(平成20年)

1月10日 火曜日

[編集/発行 特定非営利活動法人
まちなか研究所わくわく]

〒900-0013
那覇市牧志3-8-28-2F
Tel/Fax: 098-861-1469
(桜坂Village内)
HP: <http://www.machiwaku.com>
Email: office@machiwaku.com



マチグワー支援事業、4年目経過報告

那覇市中心市街地、まちづくりの取り組み 持続可能な仕組み目指す



これがリニューアルした「まちなか現在」

▲ 那覇市中心市街地活性化基本計画策定に向けた市民ヒアリングでの第一牧志公設市場座談会の様子

那覇市中心市街地をフィールドに取り組んで、4年(今年で5年目!)が経ちました。

第二牧志公設市場跡(にぎわい広場)の整備事業をきっかけに取り組み始め、「地域の人・組織同士のつながりを再生し、持続可能な仕組みをつくること」が、近い将来中心市街地に迫り来る様々な地域課題(人口減少・高齢者人口の増加・建物の老朽化・本土資本の土地買収など)を、地域の人たちの手で解決していくの助けになるはずだと考え取り組んでいます。

「子ども」については、職場体験受入れコードイネットの事務局として本格実施し、10校・約170名の中学生2年生をコードイネットしました。一方で、これらのプログラム開発に向けて、子どもに関わる取り組みを様々な取組、中でも昨年職場体験のコードイネットを行った中学校の中学生1年生に対して週1回(全16回)の授業実施に関わることができました。このことは、現在の学校教育の現状や子ども達の状況を知る上でも学び多い取り組みとなりました。

「つながり」の取り組みでは、商店街の方との出会いもあって、情報誌「まちなか現在」をリニューアルすることになり、2年前からフィリップモリスジャパン(株)より助成を頂きながら、試行錯誤の中、なんとか取り組みができています。

今年度のハイライトは、取り組みの柱を「子ども」「つながり」「にぎわい広場」「コードイネーター」として事業を展開しています。

「にぎわい広場」については、取り組みを進められず、というところで課題となつていきます。さらに、これらの取り組みのための要、「コードイネーター」がどう持続可能な仕組みとして成り立っていくようにできるのか、答えを見つけないといけないかもしれません。

これらの取り組み以外にも、本年度は、那覇市が中心市街地活性化基本計画を策定するというところで、これらの計画に地域の声を反映させてほしい!と働きかけ、那覇市委託事業として市民ヒアリングを実施することができました。また、昨年は、壺屋やちむん通り会の祭り実施において、事務局サポートを行ったのですが、今年は浮島通り会へもサポートを行いました。サポートできる通り会が増えてきているというところは、元気な通り会が増えてきているというところで、こちらまで元気になりながら、楽しく仕事ができています。(れお)

第4期通常総会報告

日時: 2007年5月17日
20:00~21:30
場所: にぎわい広場
コミュニケーションルーム
出席者: 7名(15名)
(書面表決: 3名)

・監事変更のお知らせ

立ち上げから、当団体の監事として4期に亘りご尽力賜りました一柳亮太氏が今期をもって退任することになりました。新しい監事には与儀隆一氏が就任することが通常総会で決定しましたのでご報告いたします。

一柳氏には、立ち上げ時に監事に就任していただきありがとうございました。全てが手探りな私たちに対して暖かく見守りながらアドバイスをいただき本当にありがとうございました。

新監事の与儀氏は、昨年までは、沖縄県社会福祉協議会のボランティア市民活動支援センターのスタッフとして活躍され、NPO、市民活動の分野に対し大変明るい方です。今後ともよろしくお願いたします。(わたる)

次号の特集
「開南」 2月完成予定
地域情報誌
み〜きゅるきゅる

あなたの団体の会議が変わる!!
まちわく出張ファシリ

ファシリテーターとは、中立的な立場で会議の進行促進をおこなう人です。詳しくは、上記記事ご参照ください。
会議1時間あたりファシリテーター1人7500円
(会議前準備・調整含む)が目安です。ご相談ください。

